

第1回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク意見交換会

日時：平成30年5月30日（水）AM10時～PM12:00

場所：亀山市地域社会振興会 2F 応接室

- 出席者 石水溪観光協会 松本
鈴鹿高校山岳スキー部 萩
亀山市地域社会振興会 櫻井
亀山市役所生活文化部地域観光課 木田、服部

○意見交換事項

①登山道活用プラン（市作製の素案）について

市：活用プランについて、別紙のとおり、検討素案を作りました。このテーマについてできれば半年で意見交換して作製し、例えば予算要求が必要な事柄があれば、このプランに基づき要求できるようにしていきたい。

【意見】

- ・トイレは新設をするほど登山客が少ない。キャンプ場のトイレを使用できるのと、バンガロー横のトイレの充実を図ればよいのでは？
- ・仙ヶ岳登山道は、一般的には鈴鹿の小分須から登るほうが難易度が低いため一般的である。石水溪からの登山では、車は石水溪キャンプ場バンガロー周辺に駐車し、そこから抜ける登山道を経由して、堰堤のある駐車場に抜けて、仙ヶ岳登山道に至るコースを使用している。
- ・南尾根コースは、危険なところあり、登山道として位置付けられていないと考える。
- ・石水溪から仙ヶ岳への登山道は、坂本棚田からみつまたが群生する登山し、仙鶏尾根を経由し仙ヶ岳山頂目指し、白谷道を下山するか臼杵へ行くルートがよいのではないか？
- ・コース選定には、安全対策も並行して検討を要する。この場合、消防や警察とも会議で連携をとったらどうか？
- ・簡易なパンフレットのようなルートマップを作ると遭難者ができる可能性もある。そういうことも留意を要する。そのため、観光用のパンフレットも作るが、詳細なルートマップも必要であろう。
- ・石水溪キャンプ場の駐車場を登山客のために、例えば受付で住所、氏名を聞き取り、登山客用のステッカーを車に張る、そうすれば、登山ポスター的な機能を果たすのではないか？ほとんどの登山客は登山計画書を出さない。石水溪には至るところに登山道入り口があり、現在一か所に登山ポストがあるが有効性はない。そのあたりを、振興会で運用できるか

検討する。

- ・ 7座のルート案内看板も作る。

②役割分担の確認と活動内容について（直近、中長期視点で）

石水溪観光協会：現在活動人員は減っているが、石水溪キャンプ場周辺、野登山の道路の美化活動を行っている。材料等支給について後日報告する。仙ヶ岳へアクセス道路はガタガタなので、碎石で埋めたいので、そういう材料の提供もお願いしたい。

鈴鹿高校山岳スキー部：萩先生は月曜日、水曜日はあいている。7座の登山案内するので、6月13日、18日、20日のいずれかに登山をするので、日程調整をお願いする。また、高校生は秋以降となる。登山ルートについても、萩先生のほうで、一度案を検討して地図にプロットしていただく。

亀山市地域社会振興会：登山客への駐車場提供、登山届の対応方法などを検討する。

亀山市役所生活文化部地域観光課：引き続きプランの精査を行っていく。

③ボランティア保険、活動消耗品等について

ボランティア保険の申し込み用紙の配布。後日、提出いただく。市がまとめて社会福祉協議会へ手続を行う。

④その他、緊急的に取り組むべき事項等、自由意見

特になし

⑤次回日程について

日 時：平成30年7月2日（月）午後2時～

場 所：亀山市地域社会振興会応接室

第2回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク意見交換会

日時：平成30年7月2日（月）PM2時～PM4時

場所：亀山市地域社会振興会2F会議室

- 出席者 石水溪観光協会 松本
鈴鹿高校山岳スキー部 欠席
亀山市地域社会振興会 櫻井
亀山市消防本部警防課 欠席（出動のため）
亀山市産業建設部産業振興課 村田
亀山市生活文化部地域観光課 木田、東地

○意見交換事項

①登山道活用プランについて・・・修正点を説明

市：活用プランについて、前回の意見交換会での意見等をうけ一部修正・追記（赤字にて記載）をしました。また、「(仮称)鈴鹿川等源流域の自然資源を守り育て未来へつなぐ条例」が12月議会に提出されることも考え、12月までには活用プランを固めたい。なお、活用プランについては、固めた後についても活動をしていく中で変更点等が出てくると思われるので、その都度修正していき柔軟にその場にあわせ改訂していきたい。

<補足点>

- ・「3. 亀山7座トレイルの目指す姿」の(4)に関連し、市の福祉関係で今年から健康マイレージ制度（様々な健康につながる行動に対してマイレージが貯まる仕組み）がはじまり、その仕組みの中に亀山7座トレイル事業も含まれる予定。
※亀山7座に選定された山々に登り、山頂の看板をLINEで撮影したらマイレージが貯まる仕組み

<修正点>

- ・「2. 亀山7座トレイルの現状と課題」について、
 - (2)と(4)で案内・整備関係でかぶっていた部分があったため、7項目から6項目へまとめた。
 - (2)のトイレについては整備とまではなく充実という話が1回目の会議で出ていたので、整備から充実に修正した。
 - (4)自然等ではなく、石水溪を含め亀山7座の周辺には歴史的な観光資源も多数あるため「等」でまとめず、歴史というワードも追記。
 - (5)では当初隣接自治体との連携について触れていたが、元々の「7座トレイル登山道」活用ネットワークの成り立ちである課題（活動団体の高齢化や他団体との連携等）に修正した。
- ・「4. 保全・活用の具体的な取組」について
 - (2)④整備を充実へ修正
 - 登山道の標識やルートテープ、トイレなどの拠点設備等の安全対策も含めた維持管理体制をつくっていく必要があるため(2)「⑥維持管理体制の構築」を追記
 - 振興会が(株)モンベルのフレンドショップ指定をうけ、(株)モンベル

と連携した情報発信も行っていく予定であるため、(3)「③民間企業との連携によるPR」を追記

※将来的には亀山市全体をフレンドエリアとして登録していきたい

→(7)世界的アルピニストである尾崎隆氏と亀山7座トレイル事業はセットと考えており、石水溪キャンプ場研修施設を亀山7座トレイルのビジターセンターとするとともに、尾崎隆氏の偉業発信の場としても活用していきたいため修正・追記を行った。

※石水溪キャンプ場研修施設内での尾崎隆氏の遺品展示や映像の放映等検討

・「5. 数値成果等」について

→数値目標を数値成果に修正。目標を定めると目標に追われてしまい義務感などが生じてしまうため、あくまで皆さんのペースで進めていってもらいたいので、年度毎に活動した結果を残していければという意味で目標から成果に修正。

【意見】

・数値成果の部分で、人力でやって材料支給を行う程度であればお金はそこまでかからないとは思いますが、大がかりな整備や枯れた木の伐採など素人では難しい点もある。

(石水溪の林道の松枯れが多く、台風などで倒木なども多い。)

→林道安楽越線の松枯れについては森林林業グループで把握しており順次対応していく。

・整備に関して、仙ヶ岳に登山する際営林署まで行く途中で落石(小規模な落石が数箇所、歩行に支障がある大規模な落石が1箇所)があるため、登山口に行くまでの障害になっている。(落石する以前は車で営林署付近まで行けた。)また、現在車であがっている道についても、えぐれている部分があり早急に整備する必要がある。

→どのような方法で整備をしていくかの検討も必要だが、整備していく方向

・石水溪キャンプ場研修施設へ尾崎隆氏の遺品等展示はスペース的に難しいのではないかと。

→食堂スペースなど工夫すれば展示も可能。

⇒活動プランの修正・追記については特に意見なしのためこのまま進めていく。

②亀山7座基本情報シートについて

市：亀山7座に選定されている山について、基本情報やコース、登山口までのアクセス等登山に必要な基本情報をまとめたシートを作成し、これからHPなども作成することになるので、掲載し登山者へ情報を提供していきたい。今回は色々な本を参考に文章を切り貼りして作成したので、これをベースに皆さんの意見も踏まえて、中身の充実したシートを作成していきたい。(鈴鹿10座基本情報シートを参考に作成)

【意見】

特になし

⇒各自で確認していただき、何かあったら次回の意見交換会の時でもいいので追記・修正を行っていく。

③登山道マップについて

市：鈴鹿国定公園が選定され 50 周年を迎えるため、記念事業として公園内の登山マップを作成する。「亀山 7 座トレイル」登山道活用ネットワークでも登山マップの作成を考えているため、並行して進行していきたい。鈴鹿国定公園側のマップは、8 月中にルートを確認し報告していかなくてはいけないため、現地調査を含め早い段階でトレイルルートの確定と現在の登山道の状況把握を行いたい。また、今回の資料にある錫杖ヶ岳の登山マップのように、7 座すべて、ルート・写真を添付したマップも作成していき、亀山市地図情報システムと連動させネットで登山したい人達が登山マップを確認できるようにしていきたい。

【意見】

・特になし

⇒天候の関係もあるが、引き続き鈴鹿高校山岳スキー部さんに先導してもらい現地調査を実施し、登山ルートの確定と登山道の現状把握を行う。

④各団体活動について

○亀山市地域社会振興会

(株)モンベルのフレンドショップになったことで、(株)モンベルと連携したPRが行える。モンベル会員に向けた冊子・ネットへも石水溪キャンプ場施設が掲載されるため、全国に向けキャンプ場のPRを行うことができる。

○亀山市消防本部警防課

「『亀山 7 座トレイル』登山道観光資源活用協定」の締結をうけ、登山客の増加も予想されるため、平成 30 年度は警察とも合同で、救助へりも出動をする大規模な亀山市合同山岳事故対応訓練を実施することとなった。まだ時間等詳細は未定となるため、決定次第連絡。(地域観光課長木田代理で説明)

※日程

日時：平成 30 年 8 月 10 日（金）午前から

場所：鬼ヶ牙周辺

○亀山市産業建設部産業振興課

鈴鹿川等源流の森林づくり協議会にて亀山 7 座トレイル登山道活用ネットワークへ協力・連携を行っていきたいと思っており、今度の会議で委員の方に諮るつもりでいる。

市内企業等も会員として入っているため、協力・連携体制がとればさらに充実した活動ができる。

⑤ 7座トレイル事業の予算について

希望物品、材料等の数量等

市：当初予定外の支出などもあったため、今後何が必要かを考え9月補正で予算を確保していきたいと考えている。他にも必要な物品等あれば教えていただきたい。

【補正項目（予定）】

- ・360℃カメラ（登山道のストリートビューを検討しているため）
- ・市地図情報システムと連動した登山道マップセットアップ委託料（ネット上で登山道情報を共有できるようにするため）
- ・飯野高校への画材道具（ネットワークのシンボルマークをデザインしてもらうため）

【意見】

特になし

⇒7月13日（金）ごろまでにもし追加であれば観光交流Gまで連絡をしてもらう。

⑥ 現地調査の日程について

登山予定日 平成30年 月 日

登山ルート

⇒未定（後日調整）

⑦ 次回日程について

日 時：平成30年8月10日15時～

場 所：亀山市文化会館2階会議室

第3回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク」意見交換会

日時：平成30年8月10日（金）午後3時～

場所：地域社会振興会2F会議室

- 出席者 石水溪観光協会 松本
鈴鹿高校山岳スキー部 萩
亀山市地域社会振興会 櫻井
亀山市消防本部警防課 水野
亀山市産業建設部産業振興課 村田
亀山市生活文化部地域観光課 木田、東地

○意見交換事項

- ① 亀山7座トレイル登山道活用プラン（案）について
市：前回の活用プランから一部修正を加えた。

<修正点>

- ・「3. 亀山7座トレイルの目指す姿」の（2）に自然・文化・物産・歴史の活用についても触れていたが、すでに他の事業等で活用や取組を行っていることもあるため、今回の活用プランではエコツーリズムに特化した取組を目指すこととし、修正を行った。またそれに伴って、「2. 亀山7座トレイルの現状と課題」、「4. 保全・活用の具体的取組」についても対応する部分についてあわせて修正を行った。
- ・「5. 数値成果等」において、「4. 保全・活用の具体的取組」の（3）利用者への広報・情報提供に対応する部分で、ホームページとSNSの開設にあわせ、亀山市地図情報システムへ登山道マップも連携させ、google マップへの登山ルート掲載や、google ストリートビューの登山道版など、充実した登山道情報の発信を検討しており、9月補正でもその部分について補正要求しているため追記。
- ・「5. 数値成果等」において、「4. 保全・活用の具体的取組」の（6）優れた～仕組みの確立に対応する部分で、現在市で進めている「ジモトノココロ」PJ、「健都サプリ」PJで亀山7座トレイルと関連部分があり連携を図っていくため、追記。

【意見】

- ・特になし
⇒修正・追記した活用プランで進めていく。（今後も変更点等あればその都度追記・修正を行っていく。）

② 亀山7座基本情報シートについて

市：引き続き基本情報シートについて、修正・追記等があれば教えていただきたい。ホームページやSNS開設にあわせ、このシートも公開する予定（秋以降）。

【意見】

・仙ヶ岳の基本情報シートで、「登山口までのアクセス」について、バンガロー前の登山道へ入るとあるが、標識もなく、道中は橋が流されているため道も分かりづらい。記載するのであれば、その部分を改善してからの方がいいのでは。

⇒今後現地調査を行う中で、看板の設置箇所の確定や道中の修繕など優先順位を決めて少しずつ整備を行っていきたい。基本情報シートは現段階では未公開のため、公開する段階では、看板の設置・修繕ができてないにしろ、現場の写真なども添付するなどして、分かりやすい情報提供を行う。

※各山の情報量が少ないため、今後現地調査を行っていく中で更に情報を加え、充実した基本情報シートを作成していく。また、各自で確認を行い追記・修正があればその都度観光交流Gまで連絡をしてもらう。

③ 亀山7座トレイルルートを選定と登山道マップについて

市：鈴鹿国定公園50周年事業としてマップを作成するため、「亀山7座トレイル」登山道のルートも掲載できるように、今回の会議でルートを選定を行いたい。（鈴鹿国定公園50周年事業のマップは8月中に校了）記載するルートについて個別の山へ登るルートと、7つの山を結ぶトレイルルートの2種類の掲載を考えている。

【意見】

・7座トレイルの山は縦走する人が多い。個別で登るには険しく、登山者も少ないため道が荒廃している山も多く、道標をしつかりしないと初心者は道に迷う可能性が高い。

個別でも登山する方有り：野登山、仙ヶ岳、臼杵ヶ岳、高畑山、錫杖ヶ岳縦走で通過（安楽越→鈴鹿峠）：四方草山、三子山

※この縦走ルートも登山者が少ないため、道には迷いやすい。

・7座を結ぶトレイルルートを設定しても一日ではまわりきれない。

⇒縦走のルートとして別紙での4つにわけたコースを（案）として設定する。また、個別にも登れるルートを掲載するが、現地調査等行う中でルートの変更は出てくる可能性がある。

④ 今後の登山計画（現地調査）について

登山予定日 平成30年9月3日（月）

登山ルート 坂本棚田駐車場集合⇒みつまた群生地
⇒仙鷄尾根⇒白谷ルートで下山

※雨天の場合順延

※現地状況調査とコース案内看板の設置箇所検討

・確認を行う。

⑤ 各団体活動について

石水溪観光協会

- ・7月に仙ヶ岳にて山岳事故があり、消防の方も出動していたが、この件をみていて、前回の会議でも発言した、仙ヶ岳登山口までの道の整備について、山岳救助など緊急事態のことも考えると、やはり早急に整備をする必要があると感じた。
⇒その部分の整備については、前回意見をいただき検討をしているが、金額的にも大きく、土地の関係（所有者）などもあるため、どのような形で整備を行うかもう少し検討をさせていただきたい。予算的な面でいけば、他の整備箇所ともあわせ、来年度の当初予算で予算を確保していきたいと考えている。

鈴鹿高校山岳スキー部

- ・7月30日から運営・準備等をしていたインターハイが終わり、ひと段落した。今後は現地調査を含む7座関係の登山などもやりやすくなる。
- ・7月下旬にクラブ活動で仙ヶ岳、野登山（野登山→仙鷄尾根→御所谷）の登山を行ったが、木で作っている橋は全て崩れており、補修を行っている方（個人で）はいるが、登山道の荒廃は進んでいる状況である。また、道標も古く朽ちかけているため、整備を行ったうえで登山マップを作成する必要がある。
- ・活用プランでは7つの山を結ぶトレイルルートの開発と記載されているが、現段階でも整備されていない部分が多く、道迷いが多くなる。
- ・道迷いについては、登山者側の問題もあり（未計画、体力にあっていない、装備が軽装、下調べしていない、マップを見ていないなど）、登山者側への啓発も必要。（講座の開催など）
- ・道標の作成にあたっては、鈴鹿側で統一した看板が設置されているため、それとあわせた看板（色・大きさ）を設置すると登山者が分かりやすいのではないかと。また、分岐点に迷わないような道標を設置するなど設置箇所も検討する必要がある。
⇒鈴鹿国定公園50周年事業で作成するマップについては、一旦、③でのルートを掲載し、今後実施する現地調査登山において、看板の設置位置なども確認し、看板設置を行っていく。また看板に記載する内容についても、山で怪我をした方など、救助を求める人がどこにいるか分かるように看板に番号記載する等、記載方法の検討も行っていく。

亀山市地域社会振興会

- ・登山者への石水溪キャンプ場駐車場利用について、登山届を提出された方は、キャンプ場の駐車場の利用ができるようにする。

亀山市消防本部警防課

- ・午前中に(8/10)「平成30年度亀山市合同山岳事故対応訓練」を開催し、鬼ヶ牙を会場とし、ピックアップ・搬送・救助訓練を行うことができた。今回の訓練では津市・伊賀市・甲賀市・鈴鹿市それぞれの消防や、関係団体(7座トレイル関係、山岳連盟等)もあわせ約60名の見学・参加があった。今回の訓練を機会にぜひ三重県山岳連盟とも連携を図り、情報共有等行っていきたい。

亀山市産業建設部産業振興課

- ・鈴鹿川源流の森林づくり協議会の状況について、現在7座トレイルとの連携・協力も含め協議会の活動計画(5ヶ年)を作成中。9月中には素案を作成し協議会の役員会へ図っていく予定である。

亀山市生活文化部地域観光課

- ・亀山7座トレイル登山道活用ネットワークのロゴマークについて、亀山市の市章のデザインもしていただいた、飯野高校さんへロゴマークのデザインを現在依頼中である。デザインができてきたら、市長とネットワークの代表である石水溪観光協会さんでデザインの選定等にご協力いただきたい。(秋以降の予定)

⑥ 7座トレイル事業の予算について

市：必要な物品等あれば教えていただきたい。また、観光交流Gで9月補正予算として下記の予算要求を行った。(9月議会の議決にて承認されれば確定)

○業務委託料

亀山市地図情報システムと連動した登山道マップデータの構築に係る費用(システム改修関係)

○備品購入費

登山道マップデータと関連し、googleストリートビューにも対応できるよう登山道の状況を撮影できる360°カメラの購入費用

【意見】

- ・特になし。

⇒今後も必要な物品等があれば観光交流Gへ報告してもらおう。

⑦ 次回日程について

日 時：平成30年 9月下旬頃(予定)

場 所：亀山市地域社会振興会2F会議室(予定)

※後日日程調整行い決定する。決定次第文書にて通知を行う。

第4回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク」意見交換会

日時：平成30年10月10日（水）午後2時～

場所：亀山市文化会館2F会議室

- 出席者 石水溪観光協会 松本
鈴鹿高校山岳スキー部 萩
亀山市地域社会振興会 櫻井
亀山市消防本部警防課 欠席
亀山市産業建設部産業振興課 村田
亀山市生活文化部地域観光課 木田、東地

○意見交換事項

① 亀山7座トレイルルートについて

市：鈴鹿国定公園協会 50周年を記念し鈴鹿国定公園協会内の山の登山道、周辺の観光情報を掲載したマップの作成を進めており、そのマップに亀山7座トレイルルート、亀山7座のそれぞれの登山道ルートを掲載する予定。

※国土地理院の地図が更新され次第、それを反映してマップの製作を進める。

※掲載ルートについては、前回の会議で決定したとおり。

※マップはイラストデータでの提供となるため、作成後もこちらでいじることが可能。

【意見】

特になし

② 現地調査の状況・今後の予定について

市：高畑山、三子山（途中まで）は登山し、ログをとり現地写真とあわせてマップを作成した。その他の山については悪天候などもありなかなか本格的な現地調査には行けていない。

※平成30年9月19日（水）に鈴鹿高校の萩先生、振興会1名、東地で坂本棚田～仙鶏尾根～野登山～坂本棚田駐車場のコースで現地調査行った。（悪天候のため短いコースでの調査となった）

○鈴鹿山系南部の登山コース調査表参照（鈴鹿高校萩先生作成）

- ・鈴鹿山系南部の登山コース（亀山7座とその周辺）は一部を除き、登山道が荒れている
- ・コースとして紹介し、人に登山してもらうようにするには相当整備することが必要
- ・三重県側の登山道は断層が多く荒れやすいため、整備後も定期的に維持管理をすることが必要
- ・登山者の意識も低く遭難・死亡事故も増えているため、登山者への啓発も必要（登山者側の問題）
- ・鈴鹿国定公園協会の前回のマップに記載されている登山道コースでも

- ・登山道といえないほど荒れているコースも記載されているため、それは記載しない方がいい。
- ・ビニールテープで印してある場合も、その印が登山道を示していない（伐採用の目印、境界の目印など）可能性があるため、ビニールテープの印を信じて逆に迷う危険性もあるため、しっかりとした道標が必要。
- ・実際の登山道状況をしっかり把握する必要があるため、引き続き登山道の調査を行っていく。
- ・登山道の修繕においても、直すべき箇所と直さない箇所を精査して直す必要がある。
- ・高畑山と臼杵ヶ岳は景色もいいため、一番登山者が多く見られる。

【意見】

- ・登山道といえないほど荒れているコースについては、記載しないようにする。
- ・登山道の整備について、山岳連盟さんと連携し協定を結び、維持整備をお願いする形は可能か？
→可能だとは思いますが、山岳連盟の会員も各自他に仕事を持っている人も多く、なかなか手が回らないのが現状である。（四日市市、菰野町は実際に山岳連盟に整備が、パトロールを頼んでいるが十分にはできていないかもしれない。）
一度、鈴鹿国定公園協会へどのような方法があるか相談するといいかもしれない。
- ・駐車場は入山届とともに受け入れ可能な状態にしてある。（夏場は管理人が対応可能、約30台は駐車可能）この他にも駐車場の整備を考えたほうがいいのか。
→石水溪キャンプ場駐車場でも便利だが、駐車していかかわからない人もいるため、看板などに登山者の利用可能が分かる案内を記載した方がいい。東近江市の鈴鹿10座についても駐車場は未整備な部分があり、今後の課題となっている。
- ・ネクスコから市に譲渡されたみつまたの植えている土地を開放して駐車場にできないか。
→地元要望で、荒れる（ゴミなどをすてられたり）する可能性があるため、市との話し合いでゲート（門）をつけることとなったため、開放は難しいのではないかと。開放するとしても地元の方に説明し理解を得られないと厳しいのではないかと。

※仙ヶ岳側の駐車場は石水溪キャンプ場の駐車場でも十分間に合うと考えられるため、ひとまず登山者が利用してもいいと分かるような案内看板を設置する。また登山客が増えてきた場合は再検討を行う。

※登山届の管理については、登山ポストを設置し冬季でも巡回や清掃の際に振興会が確認を行うよう対応する。

○次回現地調査予定日

登山予定日 平成30年10月20日(土)
登山ルート 安楽越～鈴鹿峠

③ 各団体活動について
特になし

④ 7座トレイル事業の予算について
○平成30年度9月補正予算状況

市：9月補正で要求した予算は全てとおった。購入と委託契約の手続きを早急に行う予定。

- ・360度カメラ購入費→今後登山調査に利用、鈴鹿高校山岳スキー部と観光交流Gで保管し、現地調査の際に位置情報や現地写真を取得、登山道の状況をGoogleMapに反映させる。
- ・亀山市登山道マップデータセットアップ委託費→現地調査の際に取得する位置情報(ログデータ)を亀山市地図情報システムに反映させ、一般の方も登山ルートをみれるようにする。

【意見】
特になし

○平成31年度予算要求予定項目

- ・登山道看板製作費(山頂、入り口など)
- ・登山道マップ印刷製本費
- ・ロゴマークを使用したPR物品作成委託料(ピンバッジ、Tシャツなど)
- ・山岳講座にかかる講師の報償費
- ・モンベルフレンドエリア負担金840,000円×1.1%(税込)
- ・TV、DVDプレーヤー(石水溪キャンプ場施設尾崎隆氏遺品DVD展示用)
- ・その他(保険代・材料費など)

【意見】
特になし

※登山道看板の作成枚数については現地調査で設置する場所により表記する文字等が変わってくるため検討する。

⑤ 次回日程について

日 時：平成30年12月3日 9時～
場 所：亀山市文化会館2階会議室

第5回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク意見交換会

日時：平成30年12月3日（月）9：00～

場所：亀山市文化会館2階会議室

○出席者 石水溪観光協会 松本 鈴鹿高校山岳スキー部 萩
亀山市地域社会振興会 櫻井 亀山市消防本部警防課 欠席
産業建設産業振興課 明石 生活文化部地域観光課 木田、服部

○意見交換会

①亀山7座トレイルロゴマークの選定について 【資料1参照】

- ・少し分かりにくいデザインや意図が不明瞭である。
- ・シンプルかつ分かりやすいデザインが良い。
- ・亀山市にカモシカの印象は無い。

再度、飯野高校へ情報提供を行い、修正等実施いただきます。

②各団体連絡事項について

石水溪観光協会 特に無し

鈴鹿高校山岳スキー部 【資料2参照】

錫杖ヶ岳及び高畑山を除く5座の状況を報告。

- 1 野登山
 - ・登山道としては広く歩きやすいが、魅力は無い。
 - ・頂上における眺望が無く、参道のイメージが強い。
- 2 仙ヶ岳
 - ・仙鷄尾根コースは、鈴鹿市側の小岐須溪谷登山道からのルートに位置しており、良く歩かれており、整備も特段必要は無い。
 - ・ミツマタ群生地からの登山道は標示看板が無く分かりづらく、登山道としては魅力が無い。
 - ・南尾根コースは木造橋の崩壊や浮石があり、多少の整備が必要。ただ眺望も良く、亀山7座の中では1番魅力ある登山道コースと言える。
 - ・白谷コースは登山道が分かりにくい事や浮石等はあるが、安全性の高いコースと言える。
 - ・御所平を通過し、キャンプ場へ戻る古いコースは、樹木伐採や浮石木造橋の整備が相当必要であるが、周回するコースとしては良い。
 - ・仙ヶ岳のピークは眺望もあり、7座においてもやはりトップの魅力を備えた山である。問題は登山道までの取

り付きや駐車場である。

- 3 臼杵ヶ岳
- ・仙ヶ岳から御所平を通過するコースは高原化したコースであり、眺望もすばらしく歩きやすい登山道である。
 - ・安楽越林道から入山するコースは登山者多く、コースも分かりやすいため、登りやすい登山道である。
- 4 四方草山
- ・臼杵ヶ岳からのコースは荒れており、危険箇所が多い。また、コースが多々分岐しており迷いやすい。相当の整備が必要。
 - ・山のピークに眺望が無いため、魅力は少ない。
 - ・坂下から登山道は荒れており、分かりづらい。また、三子山方面と四方草山方面への分岐からは分かりづらく迷いやすい。
- 5 三子山
- ・鈴鹿峠からのコースは良く整備され、歩きやすいが、ピークの眺望は良くない。

亀山市地域社会振興会 特に無し

亀山市消防本部警防課 欠席

産業建設部産業振興課 特に無し

生活文化部地域観光課

360度カメラを購入したため、鈴鹿高校山岳スキー部での活用をいただきたい。備品借用になるため、申請書類の提出をお願いします。

③その他

鈴鹿高校山岳スキー部

平成32年度に開催される東海高校総体の山岳競技を亀山市で実施予定。

詳細はこれからとなるが、ほぼ決定事項となります。

開催日：平成32年6月26日（金）～28日（日） 3日間

場 所：仙ヶ岳 他 予定

宿 泊：鈴鹿峠自然の家（幕営）、関ロッジ 予定

人 数：16校 約120名程度 予定

④次回日程について

日 時：平成31年2月18日（月） 9：00～

場 所：亀山市文化会館2階会議室

第6回「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワーク意見交換会

日時：平成31年2月18日（月）9：00～

場所：亀山市文化会館2F会議室

○出席者 石水溪観光協会 松本

鈴鹿高校山岳スキー部 萩

亀山市地域社会振興会 野間、櫻井

亀山市消防本部警防課 欠席

亀山市産業建設部産業振興課 欠席

亀山市生活文化部地域観光課 木田、服部

○意見交換事項

①亀山7座トレイルロゴマークの決定について

・ロゴマークの決定

飯野高校より提案いただいたロゴマークを別紙のとおり精査した。 ←市に一任する。（承認）

・飯野高校への感謝状について

松本会長より市長へ報告する形式にて実施したい。 ←承認

その中で、市長より飯野高校へ感謝状と記念品を贈呈したい。 ←承認

②その他各団体連絡事項について

石水溪観光協会

・特になし

鈴鹿高校山岳スキー部

・関三山…羽黒山、観音山、筆捨山をまわった。近年、雪に関する事故が多発しており、三重県も高校生等の登山活動における雪山山行を禁止している。

次年度より高校生の登山活動も活発化するため、関三山も含め整備の必要はある。

亀山市地域社会振興会

・指定管理者が継続となった。

今後も、シーズンオフ期の集客のため登山（ハイキング等）を活かし、集客に努める。

特に職員による山の説明や登山届の受付等も積極的に実施したい。

亀山市産業建設部産業振興課 欠席

亀山市生活文化部地域観光課

・30年度予算執行について

仙ヶ岳整備のための土嚢を180袋購入した。その他必要物品があれば、要望いただきたい。

仙ヶ岳入り口の整備 3月26日（火）9：00～実施 予備日27日（水）

参加者：石水溪観光協会、鈴鹿高校 5 名、地域社会振興会、亀山市
軽トラック、2 トンダンプを手配（亀山市）、その他石水溪観光協会の軽ト
ラックを手配。

7 座トレイルの名称入りのテープマークがあればありがたい。

- ・ 3 1 年度予算編成について

正式に市の政策事業となり「亀山 7 座トレイル整備活用推進事業」となり、
予算は 3,470 千円

新年度より萩先生を市職員として任用することとなった。

Fix My Street Japan というアプリを導入する。登山道の崩落や未整備箇所等、利用
者が登録でき、情報共有できるアプリである。

その他、石水溪キャンプ場への空調整備や故尾崎隆氏の紹介 TV、DVD の予算を確保。

- ・ 鈴鹿国定公園 50 周年記念マップについて（配布等）

今年度にマップが完成するため、各所で配布協力願います。

亀山 7 座も記載予定である。

- ・ HP の開設と運用について

市の HP 上に 7 座のページを作成した。今後、様々なマップ等完成しだい、その都度
追加いたします。

③次回日程について

日時：平成 3 1 年 月 日 時～

場所：

*市の異動もあるため、一時保留とし、4 月中旬頃の開催とする。